

**ICT政策決定プラットフォーム**

**総務省ICTタスクフォース国際競争力強化検討部会  
国際展開方策に関する提案**

**作る・PRする**

**提案①: ローカルコンテンツ制作を支援する**

- A) 国は、ローカル局と海外の放送局との共同制作番組プロジェクトを予算面で支援し、海外での放送を確実にすると同時にローカル局の番組制作力の強化を図る。
- ・ 外国人のレポーターやタレントが日本各地を探検(東京、大阪などの大都市も含む)
  - ・ 海外局は自分たちの目線で日本を紹介。視聴者の日本への関心を深め、観光や Made in Japan へのニーズを高めることに寄与する。
  - ・ 取材で得られた映像素材を双方で共有し、ローカル局は国内視聴者に向けた番組を編集・放送する。
- B) ローカル局とBS局との共同制作を支援する。
- ・ ローカル局の制作機会を増やす。
  - ・ 国内の視聴者はローカル局番組をBSで視聴できるようにする。
  - ・ 完成した番組を海外に販売する。
- C) 財団法人・民間教育放送協会(テレビ33局)の番組制作を支援し、海外輸出を視野に入れたローカルドキュメンタリーの制作を促進する。(年間40本)

**売る**

**提案②: 国内の番組・映画国際見本市を拡充する**

- A) コンテンツ制作関係者、特に実演家や芸能プロダクションの参加意識を促し、番組販売の権利許諾や広報・宣伝活動への協力などを得やすい環境を整える。
- B) アジア諸国への販売促進を前提に、『アジア人による、アジア人のためのアジアの見本市』を東京で実現し、カンヌやラスベガスと差別化する。
- C) 見本市開催中に、アジアのバイヤーを対象にした政府主催の大型イベントを実施する。(例:東京ガールズコレクション、コスプレダンスパーティー、ジャパニーズポップコンサートなど…)

### 提案③： その他

- A) 国が権利クリアランスのための資金援助を行い、コンテンツの流通を促進する。
  - ・コンテンツ流通の最大の妨げとなっている権利のクリアランスを取り払い、「ジャパンコンテンツ」に対する需要をしっかりとつかむ。
- B) 海外の番組見本市に日本の放送コンテンツを横断的に紹介できる「ジャパン・ブース」を設置する。
  - ・ローカル局や小規模な制作会社にコンテンツを紹介する機会を設ける。